

畜産経営減収対策緊急支援事業

概算事業費 13,000 千円

1. 事業目的

新型コロナウイルス感染拡大により全県に緊急事態宣言が発令され、外出自粛による外食産業等での牛肉需要が急激に冷え込んでいる。4月の山形枝肉相場は対前年同月比で約4割下落しており、県内一の飼養頭数を誇る本市の畜産農家に深刻な影響を及ぼしている。

こうしたことから、生産活動が減収に伴い停滞するリスクを軽減するため、緊急的に購入飼料費に対する支援を行う。

肥育牛減収試算（月平均出荷頭数 300 頭）

H 31.4 121 万円/頭 36,300 万円

R 2.4 76 万円/頭 22,800 万円



1 億 3,500 万減

2. 事業内容

助成金の額	購入飼料費（1ヶ月相当分）に対する 10% （頭数換算 肥育牛 1 頭当たり 14,000 円 繁殖牛 1 頭当たり 10,000 円）
助成対象者	24 戸
助成時期	5 月～

《参考》

5月中旬 畜産経営減収対策緊急支援事業（市独自の支援）

6月上旬 アグリマイティ資金（上限 500 万円、無利子）

※窓口：JAみちのく村山

6月下旬 農林漁業セーフティネット資金（上限 1,200 万円、無利子）

※窓口：日本政策金融公庫

7月中 肉用牛肥育経営安定対策特別事業（通称マルキン）

《肥育牛 1 頭当たりの粗収益が生産費を下回った場合、減収の9割分を補填する制度》

※窓口：JAみちのく村山

4月分から発動予定

枝肉単価

山形牛枝肉単価推移

